

健康メモ

第43回

■ はしか（麻疹）について

血液・免疫科部長 佐藤功

はしか（麻疹）は、麻疹ウィルスの飛沫感染・空気感染により、鼻やのどの粘膜にウイルスが付着、浸入し増殖を始めることにより起こります。4月から6月にかけて流行する小児に多い疾患ですが、最近、首都圏から全国に成人のはしかの感染拡大が見られます。その原因として、十代から二十代の人たちのワクチン接種率が低かったこと、近年はしかの流行が減少したため、ワクチンを接種した人でも、その後再感染がなく、抗体が失われた事等が考えられています。**ワクチン未接種の人の接種や接種済の人でも流行地域では2回目の接種が推奨されています。**

症状：潜伏期は10～12日。伝染期間は発疹4日前から出現5日後で、強い感染力を持っています。症状はカタル期、発疹期、回復期に分けられます。

カタル期：10～12日の潜伏期後に38～39℃台の発熱、咳（乾いた咳が特徴）、鼻汁、くしゃみ、結膜充血、眼脂を認めます。発熱3～4日目に頬の内側の粘膜に**コプリック斑**と呼ばれる赤みを伴った白い小斑点が出現するのが特徴として挙げられます。

発疹期：発症後3～4日に一旦解熱し再び高熱が出現し持続します。カタル期の症状が更に強くなり、**発疹が耳の後ろから始まり、顔や首に広がり体や手足の順番で出現します。**

回復期：熱は下降し、発疹は出現したのと同じ順序で消えていきます。発疹の跡には銅褐色の色素沈着が残りますが、やがてこれも消えます。

治療：麻疹ウイルスに対する特異的治療法はなく、対症療法が中心になります。熱がある間は安静臥床し、解熱後少なくとも3日間は安静にします。適度の室温と湿度を保つようにし、口の中や皮膚を清潔にし、十分な水分と栄養補給してください。

予防：ワクチンがあります。予防接種を受けておくのが最も効果的です。

麻疹にかかった人は、学校や職場を休んで外出を控えてください。学校保健法での基準は「発疹に伴う発熱が解熱した後3日間を経過するまで出席停止。」となっています。また保健管理センターへ電話連絡をお願いします。



皮膚発疹



コプリック斑

第61回 いきいき健康講座のお知らせ

「貧血について」

入場無料!

- ・講師 佐藤 功 先生 真壁病院 血液・免疫科部長
- ・日時 平成19年7月24日（火）
- ・場所 東松島市コミュニティーセンター
・住所：東松島市矢本大溜1-1 ・電話：82-6969
- ・講演 午後6時30分～7時30分

Information

■ ご迷惑をおかけします

当院では10月より**血液透析治療**を開始します。現在、透析設備を含めた**周辺施設の増築工事**を行っておりますが、これに伴い、内視鏡検査室と超音波検査室が南病棟へと引越しました。工事は9月30日まで行う予定です。騒音や機材の搬入、施行業者の出入り等、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

言葉つなぎコーナー

日頃思っていること、感じたことなどを五七五で表してみましよう。季語などの形式にとらわれることなく、思い浮かんだ言葉をつないでみて下さい。

- ・編み物の 生徒を静かに 炬燵まつ(HH様)
- ・埋み火や 壁には客の 影法師(芭蕉)

評：生活の一瞬のひとコマを捉えて、そこを満たしている静かな生命力が伝わってきます。芭蕉の句に繋がるものを感じます。(国際医療福祉大学 梅内拓生教授)



職員紹介

第68回

伏見 悠（ふしみ はるか） 《 相談員 》

- ・出身地 石巻市 ・趣味 読書
- ・好きな食べ物 焼き鳥+ビール（やっぱり10目が一番美味しくて好きです！）
- ・最近ハマっている事 先輩相談員から借りた『小さいことにくよくよするな』という本を読むこと
- ・最近とても驚いた事 夜、車で農道を走っていたら、イタチ？タヌキ？らしき小動物を目撃したこと

こんにちは。入社して3ヶ月が経ちました。まだまだ至らないところが多いですが、皆様のお役に立てるように、日々、努力し頑張っています。是非、お気軽にお声をかけてお話しを聞かせて下さい。

